

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[71] 教育環境の整備			主管	教育委員会																									
						指導課																									
長期総合 計画体系	[将来像] Ⅲ 暮らしやすいまち																														
	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成																														
	[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進																														
	<ul style="list-style-type: none"> ● 年少人口の増加にも対応し、児童・生徒が安心して学び、生活できる教育環境が引き続き確保されています。 ● 保護者や地域からより一層信頼される、開かれた学校がつくられています。 ● 学校における読書環境がより充実することで、児童・生徒が読書をより身近に感じることができるようになっています。 ● デジタル教科書や電子黒板などのICT機器を利活用することにより、学習に対する興味・関心を喚起するとともに、児童・生徒の学習に対して個別支援を行うことで、学力が向上しています。 																														
	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>将来需要に対応した教育環境の整備</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>開かれた学校づくりの推進</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>学校図書館環境の整備・充実</td> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>ICT教育の推進</td> <td>⑨</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td>⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						①	将来需要に対応した教育環境の整備	⑥			②	開かれた学校づくりの推進	⑦			③	学校図書館環境の整備・充実	⑧			④	ICT教育の推進	⑨			⑤		⑩		
①	将来需要に対応した教育環境の整備	⑥																													
②	開かれた学校づくりの推進	⑦																													
③	学校図書館環境の整備・充実	⑧																													
④	ICT教育の推進	⑨																													
⑤		⑩																													
10年後の めざす姿																															
施策の概要	主な取り組み																														
	* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。																														
施策の執行状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>計画策定時 (26年度末)</th> <th>目 標 (36年度末)</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICT機器を活用している教員の割合</td> <td>35.6%</td> <td>100%</td> <td>45.1%</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	計画策定時 (26年度末)	目 標 (36年度末)	27年度	28年度	ICT機器を活用している教員の割合	35.6%	100%	45.1%	55.3%																
	指標名	計画策定時 (26年度末)	目 標 (36年度末)	27年度	28年度																										
	ICT機器を活用している教員の割合	35.6%	100%	45.1%	55.3%																										
評価結果	<p>(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)</p> <p>A</p> <p>蔵前小学校の改築については、平成27・28年度は設計が完了し、解体工事の出来高も約90% (29年3月末現在) の進捗となっている。30年度新校舎開設に向けての準備は概ね順調に進んでおり、蔵前小学校区域における就学前人口の増加への対応、及び良質な教育環境の確保に努めている。</p> <p>学校・家庭・地域社会が意見交換をする学校運営連絡協議会については、定期的な開催により、家庭や地域社会が学校運営への理解を深め、意見を反映することで学校運営の改善につなげている。</p> <p>学校図書環境については、蔵書を充実し、28年度には全区立小中学校が文部科学省の設定する学校図書標準を達成し、児童・生徒が読書に親しめる環境が整っている。</p> <p>施策の指標である教員のICT機器活用度は、ICT機器・環境の整備の充実により順調に推移しており、児童、生徒の授業に対する関心や意欲は高まってきている。</p> <p>これらの取り組みにより、教育環境の整備が堅実に進んでいる。</p>																														
	<p>A 順調である B 一部課題がある C 課題がある</p>																														
<p>学識経験者からの意見</p> <p>教育環境は、子供の学びを支える基本要件であり、蔵前小学校の改築が10年後の学びの環境モデルになることを期待したい。この具体化は、いわゆる暗黙知として子供たちの精神に大きく作用すると思われる。学校運営連絡協議会や学校図書館の整備は、ややマンネリ化しており、時代の要請や保護者のニーズ等に連関して、改編や新規の企画が望まれる。特にネットワーク社会の動きやICT関連の進展に目を向け、事業改善や拡充の方向を常に意識し、リサーチすることが大切である。</p> <p>ネットワーク社会の更なる拡大や、AIの研究開発による学校・子供社会への導入により、これらの事業は10年後に大きな変貌を成すと思われる。例えば、デジタル教材の更なる活用と開発、AIによる知識伝達、電子教科書、図書館のロボット化など、学校や教師の役割も変化すると考えられる。パソコンや情報機器(スマートフォンなど)を行政が担う発想から、子供や教員個々が判断し、自己管理する発想に変わるであろう。その意味では、行政の手を離れ、各人の自己責任が求められる。ここでは新たな区民と行政との関係性を追究することが必要であろう。</p>																															

施策を構成する行政計画事業の進捗

	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(227)蔵前小学校改築	庶務課	—	蔵前小学校改築 設計・工事	目標	設計	設計 解体・建築工事	建築工事 解体工事・ 建築工事
					実績	設計	設計 解体工事	建築工事 解体工事・ 建築工事
					目標			
					実績			
					目標			
2	(228)学校運営連絡協議会	庶務課	学校運営連絡協議会 (1校園あたり) 3回	年3回以上	目標	3回以上	3回以上	3回以上
					実績	3回	3回	3回以上
		庶務課	学校評価(全校園) 実施	実施	目標	実施	実施	実施
					実績	実施	実施	実施
					目標			
			実績					
3	(229)小中学校における図書環境整備	庶務課	小中学校図書館の蔵書整備 推進	推進	目標	推進	推進	推進
					実績	推進	推進	推進
					目標			
					実績			
					目標			
4	(230)ICT教育の推進	指導課	ICT教育環境の整備 推進	推進	目標	推進	推進	推進
					実績	推進	推進	推進
					目標			
					実績			
					目標			
			実績					
			目標					
			実績					